# CASBEE京都-新築

**標準システム**

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版　使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018（v.1.0）

## 1-1 建物概要

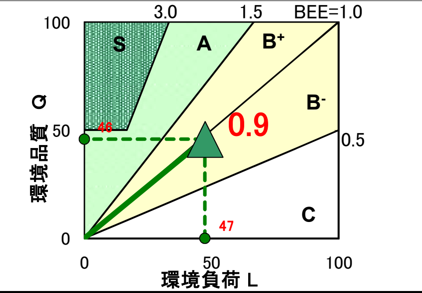
| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | ロマンの森　新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 京都市山科区大塚北溝町30番地 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 市街化区域、20m第四種高度地区、15m第一種高度地区等、準防火地域 | 平均居住人員 | 60　人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 3,650　時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所,物販店, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年10月　　予定 | 評価の実施日 | 2019年9月4日 |
| 敷地面積 | 2,442.68 ㎡ | 作成者 | 清水　太久也 |
| 建築面積 | 1,236.81 ㎡ | 確認日 | 2019年9月4日 |
| 延床面積 | 2,259.28 ㎡ | 確認者 | 清水　太久也 |

## 1-2 外観

## 2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =0.9

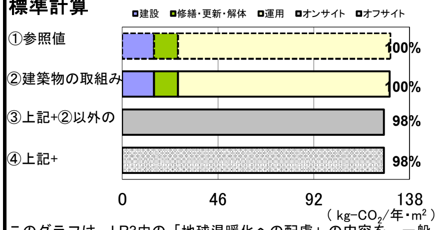
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★




## 2-2 ライフサイクル$CO_2$(温暖化影響チャート)

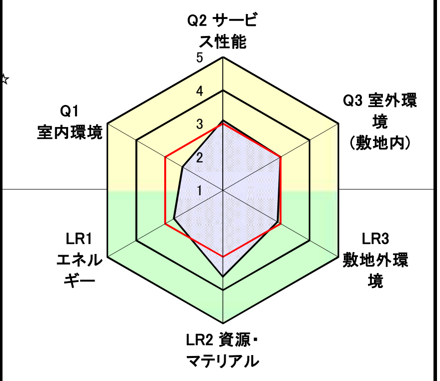
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

**標準計算**




このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

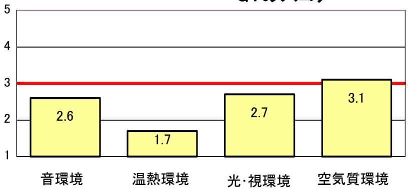
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



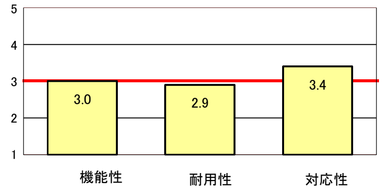

## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質　　Q のスコア= 2.8

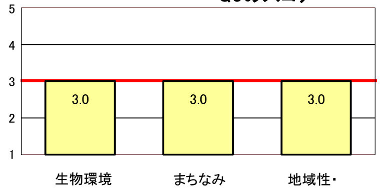
**Q1 室内環境**　Q1のスコア= 2.4




**Q2 サービス性能**　Q2のスコア= 3.1

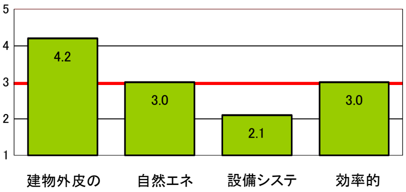



**Q3 室外環境（敷地内）**　Q3のスコア= 3.0

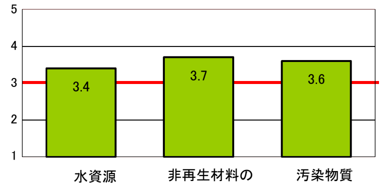



### LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

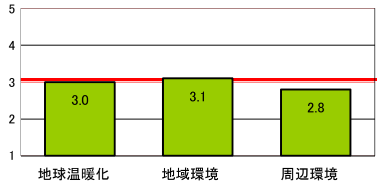
**LR1 エネルギー**　LR1のスコア= 2.7




**LR2 資源・マテリアル**　LR2のスコア= 3.6




**LR3 敷地外環境**　LR3のスコア=2.9




## 3 設計上の配慮事項

**総合**

断熱性能の高い材料を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮。
太陽光発電設備やLED照明を採用することにより、省エネルギー化を図った。
採光の確保を積極的に行い、また空気調和設備を有効に活用することで空気環境の向上を図り、利用者が快適に過ごせるように配慮した。

**その他**

特に無し。

**Q1 室内環境**

建築基準法を満たす換気量を確保することで、シックハウス対策を行っている。
室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。

**Q2 サービス性能**

設備配管は補修必要間隔の長いものを使用している。

**Q3 室外環境（敷地内）**

外構緑化を積極的に行い、敷地内の環境に配慮した。

**LR1 エネルギー**

太陽光発電設備の採用。
高断熱材や複層ガラスを採用し、熱損失の軽減を図っている。

**LR2 資源・マテリアル**

自動水栓及び節水型水栓・節水型便器を採用。

**LR3 敷地外環境**

低Nox型小規模燃焼機器を採用し、大気汚染防止に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクル$CO_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される